





# 敵情報

二月十三日ノ球参情電

聯合艦隊ヨリノ情報ニ依レバ敵機動部隊ハ  
十一日午後ガルシ「突南西諸島又ハ九州方  
面ニ向ヒツツアルモノノ知シ本行動ハ新  
作戦(南西諸島)前提ノ算大ナリ

2 球参情電

敵機動部隊ハ「ガルシ」方西ノミナラズ  
ドミラルテイ「及マリアナ」群島方面ヨリモ  
マ開始セルモノノ如ク新ナル敵ノ大攻勢  
切迫ノ徴アリ

3 マリアナ群島一級隊友ヨリ本朝ニ懸カテ三

度本土ニ来襲



侵入

二月十五日ノ一三〇一三三〇ノ間B29一機本島ニ侵入偵察

後南方ニ脱去

2 二〇一五〇ノ間P47四五機B25上ニ機高雄台

南台中空襲

3 球参情電三八九號

の十三日レノテ島気象局ハ台湾東方及南西

諸島方面ノ気象精況報告有飛機ノ気象文

ラシキ長文ヲ機動部隊ノ指揮官宛送信シ

アリテ敵ノ次期作戦目標ハ南西諸島台湾

方面タルノ算愈々大ナリ

②南西諸島方面ノ作戦中ノ敵潜水艦中十三

日偵察隊ヲ主任務トスルモノ三隻船舶攻

撃ヲ主任務トスルモノ一隻測定ス

③P47ノ作戦中ノ敵潜水艦隊ハ南西諸島

ル微アリ十三日機動部隊ト連絡密接ナ

リ

④大東島沖大東島先島列島ニ対スル敵機

偵察ハ午前午後各一回連續實施中ナリ

4 球参情電

の一二〇敵水上艦艇艦種不詳三口隻位置硫

黄島一六〇度ニシテ運進行方向三口〇度

運力一八節海軍偵察機ノ偵察ニ依レバ五〇

西午更流黄島北東一七〇度ニシテ運敵水

上部隊発見大部隊ナルモ艦種不明進度三

〇〇度力一八節

⑤海軍偵察機ノ偵察ニ依レバ十五日正后偵

察黄島地卓一六〇度敵十四日二一五〇ノ

島西南七五哩地卓附近ニ発見セル

七〇一〇隻、艦艇部隊ト判断セラル其  
指向亦向ハ小笠原ノ算大ニシテ九州南  
諸島方面ノ算ナシトセズ

4 球参情電三九〇號

球参情電三八九號ノ水上艦艇八斗四日

一五〇イバシ島西ホ一〇〇涅水上部隊ノ

一部ト判断セラル其指向亦向ハ小笠原

算大ナルモ南西諸島方面ノ算ニ要ス

二月十六日

2 敵機動部隊硫黄島艦砲射要

3 B24 一機ニハ本島ニ侵入偵察ノ後一三七〇向

亦脱去

4 海軍情報

三九番哨戒機報告敵部隊見工空母探知

空母ヲ含マザル進行方向北運力一六番一六〇九

戦艦一巡洋艦ニ駆逐艦一〇一ニハ外集團ヲ認

メズ(一六二四)

5 球参情電三九二號

十六日〇〇頃敵機動部隊ノ艦載機一三〇(奉返)

ヲ以テ房總方面ヨリ関東地区ニ侵入セリ

二月七日ノ立川浜松敵機来襲

2 台湾西海岸花蓮港敵機来襲

3 海上防衛隊情報

の敵機動部隊十六日二〇〇犬吠崎一七〇度

ニドロ涅

敵報道ニ依レバ「ニ」ノ第五艦隊ナリ

一〇〇造ニ関東地方ニ来襲敵機約七〇機

硫黄島敵在空

今朝気水上艦艇ノ艦砲射要及艦載機ノ空

襲ヲ受ケツツアリ

(3) 一五敵部隊見立(空母不在)地矣大吠崎一七〇度  
二一〇度附近天候小雪

4 球参電第三九四號

十六日六〇〇ヨリ一六〇ノ間敵機動部隊八艦  
載機延一四〇機ヲ以テ主トシテ水ヲ鉋  
子房總東京近傍浜松附近ノ飛行場ヲ攻襲  
セリ十七日六四五艦載機二三機侵入セリ  
二十六日六〇〇頃硫黄島ニ対シ戦艦ニ巡洋艦  
七駆逐艦一六〇基艦トスル部隊ヲ以テ艦  
砲射雲ヲ實施中ニシテ十七日十八日中ニ  
上陸開始ノ算大ナリト判断セラル  
(3) 敵ハ関東東海地区飛行場ヲ制圧後一部ヲ  
以テ該地区ノ飛行場ノ制圧ヲ續行シツツ

5 球参情電第三九五號

の敵ハ硫黄島ニ対シ一〇三三ノオスチ海岸ニ上陸  
ヲ企圖セルモ之ヲ退尚一部ハ一〇四三谷山  
海岸ニ上陸セリ  
(2) 一〇〇〇迄ニ関東地区ニ來襲セル艦載機ハ約  
三五〇機ニシテ攻襲重兵ハ何レモ依然飛  
行場ナリ

二月十八日ノ敵大型一機北大東島偵察

2 屏東台南B24十数機來襲

3 B24一機二三〇回頭ヨリ侵入本島偵察ノ後

一三〇南方ニ脱去

4 B24一機宮古島石垣島偵察

二月十九日ノ一〇〇現在敵機動部隊ハ硫黄島附近ニアリ

(風部隊情報)

2 花蓮港敵機來襲

3 B29 B24 各一機沖大東島ニ侵入

4 海軍情報

友軍機ノ偵察ニ依レバ十八日〇九四〇空母ニ  
襲ヲ命ジ敵機動部隊鹿兒島有明灣都井崎  
一一五度四五〇埋ニ在リ

5 台灣防務情報

〇十七日一三〇〇以降南東地方ニ敵艦載機ノ末  
襲狀況ニ鑑ミ敵機動部隊西進ノ微アリ  
警戒ヲ要ス

〇敵機動部隊二三〇頃台灣南部ニ來襲ノ算アリ

二月二十日ノB24一機二三〇〇頭尾入偵察ノ後二三〇島尻南

才ニ脱去

2 屏東敵機來襲

〇十九日一二〇〇頃在空母三巡洋艦一三北緯二

二度五〇分東経一四一度一〇分其ノ西何

レモ二度二〇分戰艦三巡洋艦數隻アリ

〇一二三〇空母ヲ基幹トスル一群北緯二二度

五〇分東経一四一度三〇分北進中

二月二十日ノ球參情電第三九九號

〇敵機動部隊ノ主力ハ十九日一二三七北緯二〇

度一〇分東経一四二度五〇分ニ測定セラ

レ以後南西諸島方面ニ対スル策動企圖在

リ依然警戒ヲ要ス

〇敵機動部隊主力ハ十九日一二三七短時間電波

ヲ輻射セリモ以後電波管制中依然マリテ

テ方面哨戒機及レテ島方面氣象局ヨリ

氣象通信ヲ受ケアリ

〇硫黃島方面策動中ノ部隊トノ關係密接ナ



ラズ

2 B24 各一機二回ニ互リ本島ニ侵入(第一回) 二二四―二二九第二回二四三―二五〇偵察後脱去  
二月二十日ノ B24 一機二二四回頭ヨリ侵入本島上空ヨリ偵察ノ後二二七島尻東方ニ脱去

2 球情報

成都ハ全司令宛口六三〇―一九三〇ノ間誘導電波ヲ要求シ在リ

二月二十日ノ B24 一機糸満ヨリ本島ニ侵入上空ヨリ偵察ノ後一〇三島尻西南方ニ脱去

二月二十日ノ B24 一機一〇三北飛行場西方海上ヨリ侵入北進一〇三北方ニ脱去

2 B24 一機南大東島偵察 B24 一機沖大東島偵察  
二月二十日ノ球参情電第四〇七號

隻駆逐艦五隻西進中

2 肉索地区ニ敵艦載機來襲

3 B24 一機一〇五糸満南西ヨリ侵入偵察ノ後北方ニ脱去一〇二

4 高雄 B24 六〇機 B38 十九機來襲  
5 風部隊情報

航空母艦三戰艦三巡洋艦五ヲ含ム機動部隊父島東北約二〇口料ニ現存セリ

二月二十日ノ B24 一機島尻南方ヨリ侵入(一四〇)偵察ノ後北方ニ脱去

2 球参情電第四〇九號

防衛總司令部發表ニ依レバ海軍哨戒機八本二十六日〇九五〇潮岬一五一度二五〇混ニ空母ヲシキモノ一巡洋艦ニ駆逐艦三ヲ發

見セリ

3 球参情電第四〇號

廈門情報ニ依レバ<sup>三〇</sup>夕在支米空軍及太平洋方面米空軍ハ本土及南西諸島台湾ノ爆轟ヲ企圖シアルモノノ如シ

二月二十七日ノ<sup>24</sup>一機二四〇國頭ヨリ侵入偵察ノ後二二〇三西南方ニ脱去

2 <sup>229</sup>一機一三〇島尻方面ヨリ侵入那霸港ニ投擲スルモ被害ナク本島西海岸ヲ北進國頭ニテ施田南進一三五島尻南方ニ脱去

二月二十日ノ<sup>B29</sup>四機九〇本島ニ侵入綿密ニ偵察南方ニ脱去

三月一日ノ<sup>1</sup>巖部隊情報

吳四<sup>1</sup>敵大編隊本島近接中

# 軍事秘

獨高三七指第一〇號

戰鬥要報提出ノ件報告

昭和三十年二月十八日

獨高射砲第三七大隊長

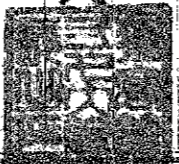
第三軍軍司令官殿

本二十八日敵機襲撃時ニ於テ戰鬥要報別紙ノ通報告ス

陸

2.28 付

梅田



2.

三三  
彙  
斗  
易  
報

此  
主  
吉  
紅  
花  
才  
三  
十  
七  
日  
錄

戰關要報

昭和二十年二月二十一日  
航空隊第二十七大隊

一戰關經過之概要

一〇一五敵機一機天久上空ヨリ那覇港上空ヲ経、慶良間列島上空ニ至リ、旋回シ光原崎上空ヨリ小緑陣地上空ヲ通過仲西飛行場方向ニ向ハントスル折方向ヲ變、高度七、五〇〇航速一三〇、航路再五〇〇ノ諸元ヲ以テ第一中隊第二、五分隊各門一發々射ス

至近彈ニシテ稍後方ニ於テ裂ス、射撃位置迄ニ主要航跡別紙要圖ノ如シ

二戰關開始前ニ於ケル態勢

〇六、三〇球高作命甲第 號ニ基テ警急ニ於テ勢力乙ニ転移嚴戒中ノ處。九、三ニ中飛行場上空ニ敵機一機高度一〇、〇〇〇ニテ西南進中ナルヲ發見直ニ戦斗空勢ニ

24217

三、敵ノ機種、機数、戦法

一、敵ノ機種、機数

二、戦法

二、戦

敵機ハニ機アルモノ、如ク単機ニテ高々度(推定高度

一、○○○)ヲ以テ侵入敵次高度ヲ低下(約七、五〇〇乃至

八、〇〇〇)シツ、ハ、〇九、〇〇〇ヨリ一、二、二五ノ約ニ時間ニ亘リ

主トシテ小隊飛行場、那覇市ト空路ニ仲西飛行場

西方海岸線附近ニ於テ、偵察ヲ反復執拗綿密

ニ備察着意施セリ

四、彼我損害ノ概要

ナシ

五、射撃概算

隊別	弾種	射撃弾	戦	弾
第一中隊	九〇高射弾 九〇機銃弾	二	三七七	二
第二中隊			三七五	七

六、其他

一、當時陣地附近ニ於ケル氣象状況

天気 晴

雲量 一

雲高 九五〇

視程 二、三〇〇

気圧 七六一

気温 二二

風速 六七

風向 南、三二〇

別紙



凡例

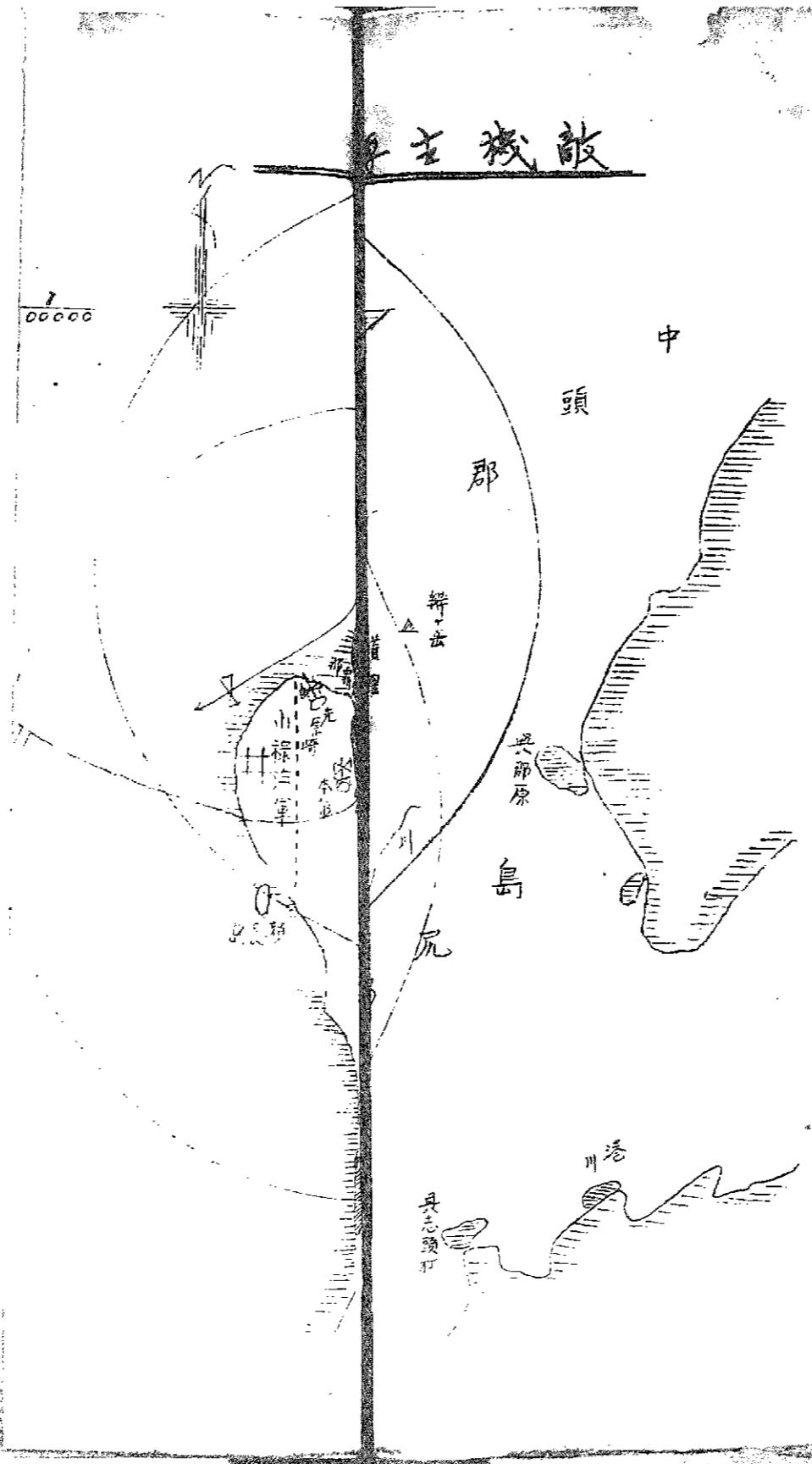
↓ 主要航路  
× 射要位置



敵機主

別紙

10000



軍事雜誌

第七十七卷 第十一號

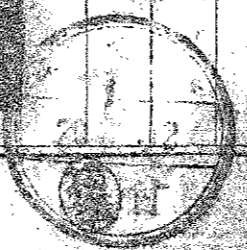
戰鬥西女報提出之件報告

昭和三十年三月一日

獨高射砲第三十六隊

第三十三軍司令部官殿

本日敵機來襲時ニ於テ戰鬥西女報別紙ノ通  
報告ス





三一

新平の如

学長ニ  
御書好  
肥才三  
七六  
大衛

戰鬪要報

昭和二十年三月廿七日  
航空隊第一七大隊

二一六六

一 戰鬪經過ノ概要

○七、五五五(仲西飛行場上空)ニケラマン三機ノ一編隊ヲ  
發見、部隊ハ直ニ戰鬥姿勢ニ転移シ爾後一六、三三〇道、  
約十時間ニ亙リ波状來襲ノ敵機群ヲ邀撃交戦セリ  
敵機、主要航跡ヲニ射撃位置(要撃位置)ニ位置別要撃圖  
ノ如シ

二 戰鬪開始前ニ於ケル態勢

昨二月二十日、執拗綿密ナル偵察ニ鑑ミ大隊ハ至極  
ナル監視ヲ續行中、○六、四〇〇與座岳地奥ニ七〇度三〇  
料ノ大編隊ヲシキモ、逆接ト、單情報ニ接シ直ニ緊急  
姿勢ヲ乙ニ移行シ嚴戒中、度、○七、〇五五本部監視哨北方ニ  
ケラマン三機ノ編隊ヲ發見、直ニ戰鬥姿勢ニ移行シ



24212

部隊

敵機ノ威力圏内侵入ヲ待テ滿テ撃シ得ル機中  
ヨロビ七南西諸島全地區空襲警報發令セラル  
三敵ノ機種機数裝備戦法  
ノ機種機数

グラマン F6F  
カーチス  
コルセア

延約六五〇機

ス裝備

一三七機並ニ少數ノ爆彈ヲ裝備シアリテ特ニグラマン F6F  
及コルセアハロケット砲四發ヲ裝備シアルモノ如シ

三戦法

敵機ハ先々対空火器威力圏外ヲ行動シ目標ヲ標定  
シ次テ少數機(三乃至四機)ヲ以テ陽動ヲ爲シ対空  
火器威力射撃部隊ヲ牽制シツ、他方向ヨリ主力

ヲ以テ斷雲利用或ハ太陽ヲ背ニシテ敵ノ標定シテ  
リレ目標ニ對シテ逐次單縱陣ノ急降ヲ以テ攻襲ス  
時ニ部ヲ上空ニ遊戦セシメ 超低空ヲ以テ不意ニ出現シ

攻襲ヲカカルトアリ

高雲上ヨリ敵ノ標定シテアリレ目標ニ對シテ水平線島  
ヲ竊射セルハ既述戦法ニ比シ特異ノ戦法ナリ

其ノ他ハ目標上空ニテ方向変換約五十乃至七十度ノ  
降下角度ヲ以テ急降下爾後波狀蛇行等ノ極端  
ナル不現行動ヲ以テ離脱ヲ圖ルヲ常トス

攻撃目標ハ主トシテ那覇港(内外)碇泊中ノ艦船次テ  
飛行場陣地施設ヲ豫想スル地兵、高射砲陣地等  
ナルモ從來ノ來襲敵機比シ戦意稍々低調ナリ

四彼我損害ノ概要  
ノ敵ニ與ヘル損害

四一九五五

隊名	要	要	要
第一中队	五	二	摘
第二中队	四	一	要

二我方ノ損害

ナシ

五 射撃

隊名	弾種	射撃弾	残弾
大隊本部	小銃突発	一三六	
第一中队	九〇高射突発	五五	四三、八八二
	九〇高射突発	二一六	三五五六
	九二重機突発	一〇六	三六四六
第二中队	九〇高射突発	一一〇	四一九九三

陸軍

六 其他

一、当时陣地附近ニ於ケル氣象状況(下午)

天気 曇時々晴 雲量 一〇 雲高 最高一〇〇〇

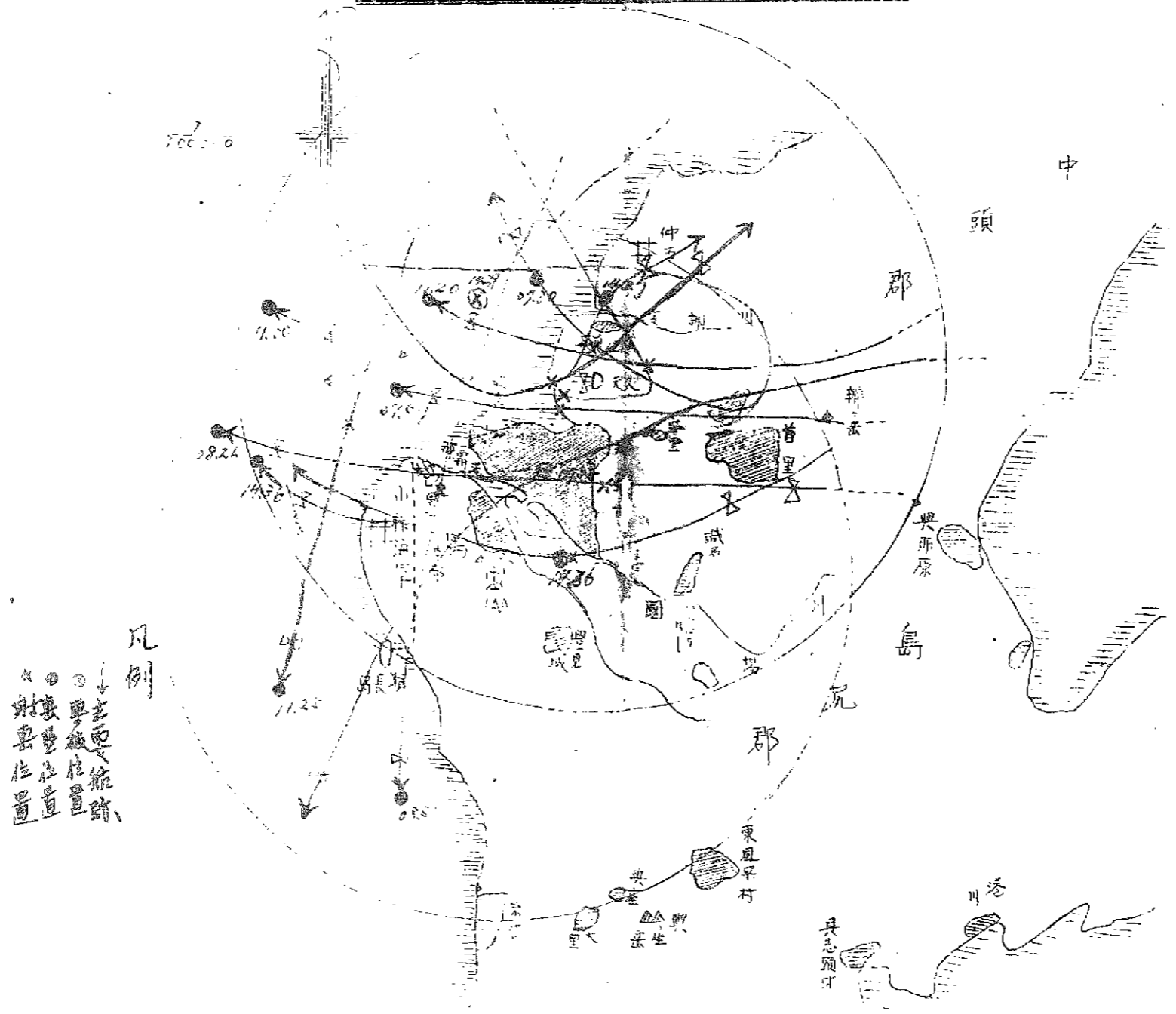
視程 二〇〇〇 氣圧 七五四 氣温 二二

風速 三一四 風向角 二三〇

二、陣地附近ニ落下セル爆弾(五十発級)十五發ニシテ内四發ハ不發彈ナリ

敵機主要航跡及重要位置圖

別紙



凡例  
 ↓ 主要航跡  
 ○ 重要位置  
 ● 重要位置  
 \* 重要位置



三一 林宮我丰 萬教

四本三三三  
本三十三軍一 卷四 萬教